

産業シミュレーション・ロードマップTFの開催

1月23日に今年初となる、産業シミュレーション・ロードマップTF（タスクフォース）を開催しました。

昨年5月に初版の産業シミュレーション・ロードマップを公開し、12月開催のシンポジウムにおいて詳細説明を行ったところ、お蔭様で各方面より大きな反響と様々なご意見も頂きました。

今回のTFでは、ロードマップの一層の内容充実に向け、今後の中期的取組みスケジュールを確認しました。また、今回発表したロードマップの実現に向けては、ポスト「京」の重点課題の成果創出との関係を整理しておくことが大切である、という考えからこの点について話合われました。

産業シミュレーション・ロードマップは、今後の産応協の広報・提言活動のベースとしても重要な位置づけであり、世の中の技術進歩と共に恒常的に見直しを進めていく必要があるものと考えます。今後もこうした産応協の情報発信に是非ご注目ください。

第11回スーパーコンピューティング技術産業応用シンポジウムのアンケート結果について

昨年12月19日（水）に開催されました「第11回スーパーコンピューティング技術産業応用シンポジウム」において、ご参加頂いた皆さまより寄せられたアンケートの集計結果について、簡単にご報告させていただきます。

今回のシンポジウムは、137名の方々にご参加いただきましたが、ご参加頂いた方々の職種は、設計・開発職、研究職、企画職が中心となっています。参加理由としては、「テーマに関心があった」「スパコンの活用事例を知りたかった」「仕事に関係するため」等となっています。講演内容については、どの講演も大体ご理解いただけただようで、シンポジウム全体を通してでも大方の参加者にご満足頂いたようです。

反省点としては、講演の時間配分が拙くアンケートでも複数の方々より改善点としてご指摘をいただきました。毎回のことではありますが、全体を通して半日（4時間）という限られた時間枠の中で、テーマに沿った複数の情報をできるだけきちんとご参加の方々にお伝えしたいという思いがあり、なかなか難しい課題ですが、改善に向け取り組んでいきたいと思っております。

第43回産応協セミナーの開催案内

2018年度としては第3回目となる産応協セミナーを2月18日（月）に開催いたします。まだ席に余裕がありますので、ご関心のある方はお早目に参加申込ください。

今回のテーマは、「材料・化学分野における将来のシミュレーション技術の展望」を取上げて開催いたします。詳細はホームページのイベント案内をご覧ください。

皆さまのご参加をお待ちしております。

1. 開催日時：2019年2月18日（月）13：00～17：05（開場：12：30）
2. 開催場所：ワイム貸会議室四谷三丁目（東京都新宿区四谷3-12丸正総本店ビル6階）

3. プログラム

- ・ 複雑な凝集系化学反応の分子シミュレーション技術の現状と将来展望
名古屋大学大学院情報学研究科 教授 長岡 正隆氏
- ・ 高分子を中心としたソフトマテリアルの計算技術
名古屋大学大学院工学研究科物質科学専攻 教授 増淵 雄一氏
- ・ 表面界面系の励起状態計算の現状と将来展望
東京大学工学系研究科化学システム工学専攻 教授 山下 晃一氏
- ・ 有機半導体材料における大規模量子計算とデータ駆動科学の融合
鳥取大学大学院工学研究科機械宇宙工学専攻 准教授 星 健夫氏
- ・ 軌道エネルギーにもとづく反応軌道論とその可能性
国立研究開発法人物質・材料研究機構 NIMS特別研究員 常田 貴夫氏

【スーパーコンピューティング技術産業応用協議会（産応協）事務局】
住所：東京都港区虎ノ門2-10-1 虎ノ門ツインビルディング西棟4階
電話：03-3435-5425 E-Mail：icscp_office@icscp.jp
担当：中川，滝口

以 上